

経済産業部

“売るを極める”  
第一回ITソリューション  
フェア

特集  
3

OKINAWA型産業振興  
プロジェクトとは



OKINAWA型産業振興プロジェクト活動内容

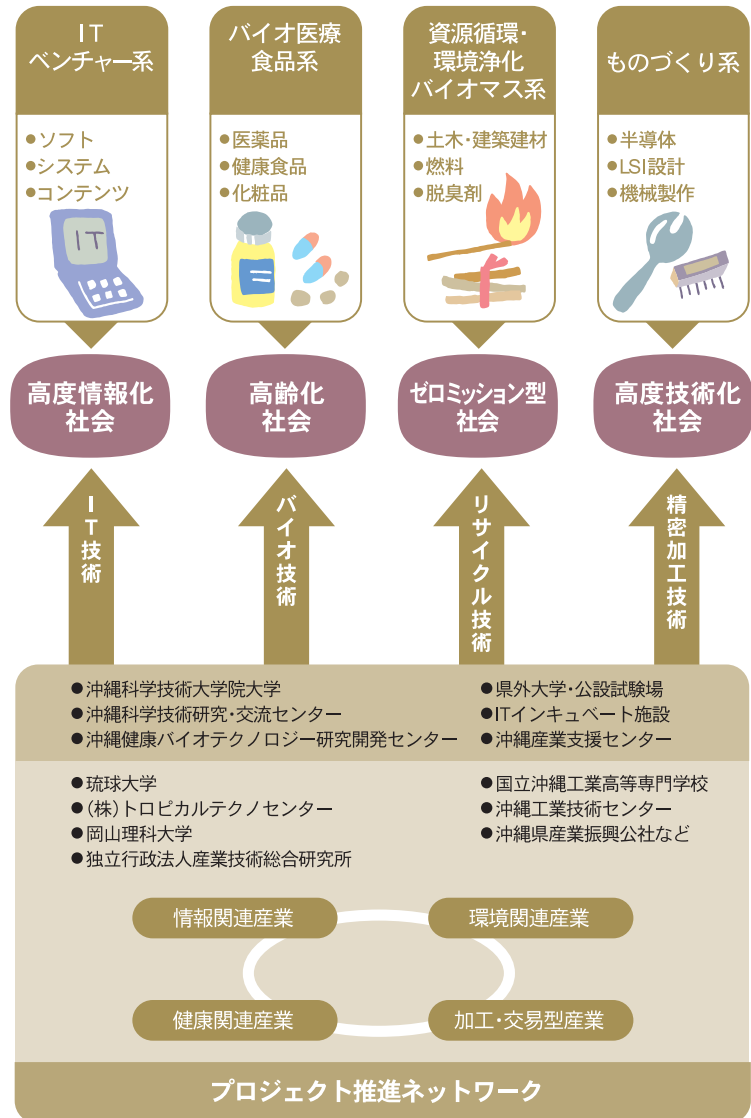
- 企業訪問  
経済産業部職員が会員企業を積極的に訪問して、工場等現場において経営者、研究・技術者から経営面、技術面等について、直接、お話を伺いながら課題・目標を明確にしつつ、コスト・時間的な面から最善の解決策を探ります。また、ネットワークを活用して、試験研究機関、大学、企業研究者等の紹介をはじめ、様々なマッチングのお手伝いをします。
- プロジェクトの展開  
企業訪問等によって形成されたネットワークに対して、産学連携による技術開発支援や販路システム開拓支援等の個別プロジェクトを展開します。
- 専門家派遣  
マーケット情報、商品開発・製造、販路開拓・拡充等自力では解決が困難な様々な課題・ニーズについて、専門家を派遣し、的確なコーディネート・アドバイスを行っております。
- 情報提供  
ホームページを開設し、会員相互の自由な情報交換の場を提供するとともに、会員企業の新商品・新技術情報、国、県等の補助事業募集案内、セミナー・講演会開催案内の他、ネットワークの大学、試験研究機関等研究者及びその専門分野、研究成果等の情報発信を行っております。(詳しくは「<http://www.okinawa-cluster.jp/>」をご覧ください。)
- セミナーの開催  
参画企業に共通する課題解決のため、セミナーを通して専門家による情報提供を行っています。

経済産業省では、地域経済を活性化し、世界に通用する新事業の創出及び産業集積を実現させるため、地域の比較優位性を踏まえ、全国で十九の産業クラスター計画プロジェクトを展開しています。沖縄総合事務局経済産業部においても、その一環として「OKINAWA型産業振興プロジェクト」を推進しています。

当プロジェクトでは、優位性を持つ地域資源、研究の進展、政策的取組等から成長が期待されている「健康関連産業」、「情報関連産業」、「環境関連産業」及び「加工・交易型産業」を対象として、産学官の広域的なネットワークの形成を図り、総合的かつ効果的な支援施策の展開により、産業クラスター形成を目指しています。

沖縄経済を牽引する産業クラスター

OKINAWA型産業振興プロジェクトでは、高度情報化社会・ゼロミッション型社会・高齢化社会等において高度な技術を持ち、新産業創出のポテンシャルが高い多様な産業群を創出していきます。



情報関連産業に対する取組

「情報関連産業」に対する具体的な取組としては、オープンソースの普及活動を推進する「オープンソース委員会」、本土からのIT開発業務の誘致拡大を実現するための「ITしごと誘致可能性検討会」などを実施しているところですが、この度、情報関連産業グループ会員企業の販路拡大を目的とした事業活動として、平成一七年九月二十八日に「第一回ITソリューションフェア」を開催しました。

第一回ITソリューションフェア

情報関連産業グループ会員企業の連携及び需要拡大のきっかけづくりを目的として、開発商品や事業活動に係るプレゼンテーション形式の発表会、商品紹介やデモンストレーション等の展示会及び商談会を実施したものです。沖縄県内のITベンダー(ソフト開発会社)の中には特徴をもった商品開発を行っている企業が多数存在していますが、一般への認知度が低い企業が多いということ、また、各ベンダー間の得意分野を活かして共同又は提携して商品を開発できる可能性があるのではないかと、ということがフェア開催のきっかけとなりました。

企画段階の議論の中では、結果がビジネスに直結するように、来場者を絞り込んで行うべきだという結論に達して、今回は流通・小売業を対象とすることをしました。



プレゼンテーション



出展企業は(株)レイメイコンピュータ、(株)国際システム、(株)オーシーシー、(株)アイ・ティ・オキナワ、(株)創和ビジネス・マシニング、(株)那覇データ・センター、(株)りゅうせきITソリューション事業本部、沖縄コンピュータ販売(株)、(株)ジャスマンソフト、クラフトナイン(有)合計十社でした。

プレゼンテーションは各社二十分の割り当てという限られた時間の中で、自社製品の特徴や利点について説明が行われました。その結果、プレゼン参加者は最大五十人で述べ人数約二七〇人、展示場については各ブースの合計人数が約二〇〇人に上り、フェアの目的である販路開拓について各社二〜四の商談や契約に関するきっかけが作られるなど、参加企業のビジネスへの展開が実現されました。

フェア来場者からは、数社の商品を一度に見ることが出来たこと、わかり易い説明であったことなどの高い評価もいただきました。

一方、出展企業間連携については、取り扱う商品の組み合わせや技術融合の可能性について、企業間で検討が始まったとの報告もあり、今後の進展が期待できるものとなりました。また、今回初めて自社商品をPRするフェアに参加した企業からは、他社のプレゼンや客へのアプローチの方法などが参考になったとの報告があり、参加企業の営業等のスキルアップに寄与するものになったと考えています。当フェアはネットワーク会員企業

に対するビジネスチャンス創出支援の一環として開催しましたが今回の取り組みの結果について詳細に評価し、次回以降の活動に繋げていきたいと考えています。

OKINAWA型産業振興プロジェクト情報関連産業部  
沖縄総合事務局経済産業部



商品紹介/相談

